

2020年9月6日 八ヶ岳 立場川

天気：曇り時々雨

メンバー：L谷内，倉澤(若)，野中

八ヶ岳立場川へ沢登りに行きました。当日朝までは雨の予報であったため、出発を予定よりも遅らせて、6時に舟山十字路を出発しました。出発時には雨も降りやんでいました。行動中も時折雨がぱらつくことはありましたが大きく天候が崩れることはなかったです。

広河原沢，立場川を渡渉してしばらく左岸の作業道を進み，旭小屋を目指しました。途中の堰堤は右から高巻きしました。

旭小屋から先もしばらくは沢沿いの作業道を進みノロシバ沢手前のゴルジュ帯で入渓しました。前日から降雨はあったようですが，水量はそれほど多くはなかったです。ノロシバ沢の先にあるゴルジュ帯のチョックストンの滝は2段目までは登れましたが，3段目は一人がやっと通れる左の穴をくぐり荷物はロープで荷揚げして突破しました。

gama滝沢から先はしばらくナメが続き，やがて核心部に当たるゴルジュ帯に当たりました。前半部は直登ですすめましたが，後半部は突破困難な滝があり，左のザレ場から高巻きして懸垂下降で突破しました。

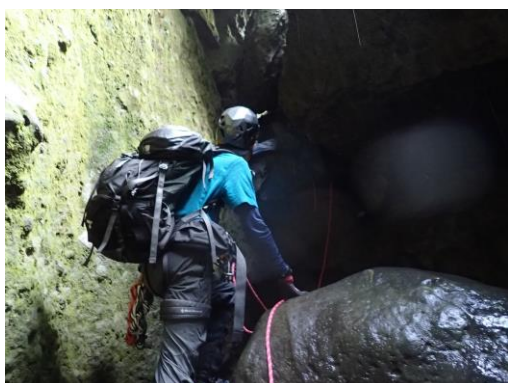
その後もしばらくゴルジュ帯を進むと，やがて両岸が開けた樹林帯になり，中岳直下の二俣に至りました。このあたりからは台風10号の影響とみられる南風が吹いていました。赤岳や阿弥陀岳のピークはガスに隠れて見えませんでした。

ここを左俣へ進み，南稜P3ルンゼの手前で靴を履き替え，南稜P1に向かって直登しました。途中草付きで滑りやすい箇所もありましたが，獣道となっていて踏み後も比較的に登りやすかったです。

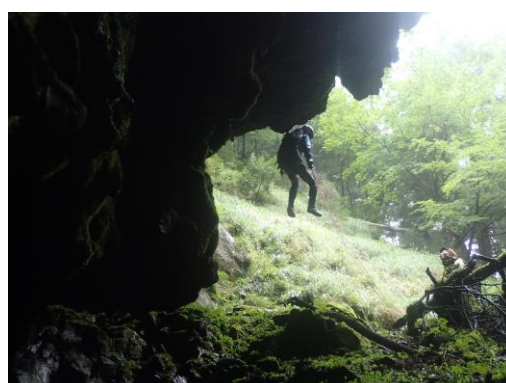
阿弥陀岳南稜上も比較的南風が強く，時折雨もパラつきましたが，下るほどに天候は回復して，舟山十字路に到着したところには晴れ間ものぞけていました。

#### コースタイム

舟山十字路発 6:05 – ノロシバ沢出合 8:30 – gama滝沢出合 9:30 – 中岳二俣 11:40 – 南稜P1 12:35 – 舟山十字路着 14:30



チョックストンの穴をくぐりぬける



空中懸垂下降